



ひすい

糸魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 3月号 (No.11)

令和6年3月15日発行



1年を振り返って



創立10周年記念事業が終わり、新しい年度のスタート…と思っていたら、あっという間に令和5年度も終わりを迎えようとしています。皆さんにとっては、それぞれどんな1年だったでしょう。

ひすいっ子たちは、今年度も一日一日を大切に、着実に学習を積み上げてきました。運動会や文化祭などの大きな行事はもちろんですが、個別や集団での学習、係活動など日々の授業の中でも、一人一人がそれぞれの目標に向かって努力を重ねてきました。その結果、歩幅の違いはありますが、ひすいっ子全員が大きく前進した1年となりました。

4月からは次のステップが待っています。これからの活躍にも大いに期待しています。

まずは、卒業・進級おめでとうございます。

職員一同、次年度も「ひとみを輝かせ、すてきな笑顔の、いつも元気な」ひすいっ子の頑張りを応援していきます。引き続き、よろしくお願いいたします。



1年間がんばった会 (小学部)

3月6日(水)、小学部の1年間がんばった会を行いました。子どもたちはこの日に向けて友達と協力しながら、それぞれが分担された仕事をしっかりこなし、準備や発表の練習を進めてきました。当日は司会係の進行の下、制作した飾りを紹介したり、歌やダンスを披露したり、保護者の方と一緒にパラバルーンを楽しんだりしました。また、授業で子どもたちが作った1年間を振り返るスライドムービーの発表も行われ、すべての発表場面で保護者の皆さんから大きな拍手が送られていました。

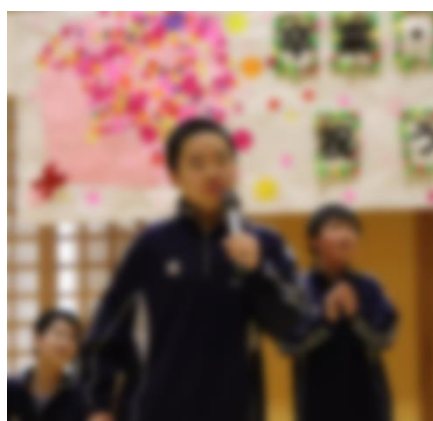
そして、1年のまとめとしての「がんばったこと表彰」を行い、校長より一人一人に表彰状を手渡しました。少し緊張しながら受け取ったり、笑顔で「やったー」と声を出して喜んだり、受け取り方にも子どもたちの個性が出ていました。最後には、子どもたちから保護者の皆さんへ、ありがとうの気持ちを込めて記念の作品を手渡しました。お忙しい中、ご参観ありがとうございました。



卒業・進級を祝う会（中学部）



3月8日（金）、保護者の皆様をお招きして、中学部の卒業・進級を祝う会を行いました。今年も、学部全員で互いの卒業や進級を祝い、1年間取り組んできた活動を披露しました。会が始まってすぐは、生徒も保護者の皆さんも少し緊張気味でしたが、一緒にゲーム「ブロック積みリレー」を行うと、徐々に笑顔が増えてきました。失敗しても皆でカバーし合う、中学部らしい活動でした。「がんばったこと発表」では、生徒がタブレット学習で写真を選んだり文字を入力したりして作成した「がんばったムービー」を披露しました。また、出し物発表では、在校生は卒業生への感謝の気持ちを歌とダンスで表現し、卒業生は自分たちの学習の様子や成果をクイズにして皆で考え、思い出に残る楽しいひと時を過ごしました。保護者の皆様、お忙しい中、ご参観ありがとうございました。



職員も頑張りました！

年間を通して、子どもたちの頑張っている姿をご紹介してきましたが、今年も子どもたちに負けず職員も、よりよい支援をするための研修を続けてきました。今年度は、関係機関との連携をテーマに、医師や作業療法士など他機関の専門家からお話を伺ったり、実際の活動場面を見ていただきながら助言を受けたりしました。

特に、作業療法士の大島弘子先生からは、年間を通して定期的に学校にお越しいただき、子どもたちの行動の捉え方や支援の仕方など、職員だけでは気付きにくい新たな視点からのアドバイスをたくさんいただくことができました。職員からも、これからの支援の参考になった、子どもたちの新たな一面が見えるようになったなど、大好評でした。

大島先生には次年度もお越しいただく予定です。これからも職員一同、子どもたちの成長のために研鑽を続けてまいります。



1年間ありがとうございました。

